***国際／業界横断EDIタスクフォースの活動***

国際／業界横断EDIタスクフォースは、業界横断EDI仕様の拡充を図るとともに、国内における展開および海外現地取引への適用を推進することをテーマに活動を行った。

***１　国際／業界横断EDIタスクフォース会議***

国際／業界横断EDIタスクフォースは、兼子邦彦（ITコーディネータ：小島プレス工業株式会社）リーダーの下、会員委員28名、賛助会員委員12名、およびオブザーバー3名の参加により、延べ5回のタスクフォース会議の審議を通して次の調査研究を行った。



***２　SIPS業界横断EDI仕様の国際標準化推進***

（１）現品票方式への対応を含め、中小自動車部品製造業標準との整合化を図た。

・「JIT製造プロセス」を国連CEFACTプロジェクトとして登録し、業務要件の審議を進め、欧州航空機製造業界を含め、要件定義につき合意に至った。

***３　SIPS業界横断EDI仕様の国内業界への展開***

（１）中小企業庁の「次世代企業間データ連携調査事業」に協力。

・国連CEFACT標準（SIPS業界横断EDI仕様）の実証プロジェクトでの使用が採用された。また、当該仕様に準拠するプロジェクト別業界横断EDIメッセージ設計支援機能の提案を行い、会員企業が受託し開発を行った。

・実証プロジェクトの候補事業提案をSIPS関係企業に働きかけ、6つの提案が行われた（内、3つのプロジェクトが採用された）。

採用プロジェクト：

* + - * + 商工会議所モデル共通EDI連携
        + 自動車業界における共通EDI連携
        + 貿易手続に係る輸出業界の受発注EDI連携

・「次世代企業間データ連携調査事業」実証プロジェクトとして合計１２件が採用され、全てのプロジェクトが国連CEFACT標準（SIPS業界横断EDI仕様）を使用することとなる。

***４　業界横断データ辞書フレームワークの実装***

（１）業務領域別メッセージ管理システム

・中小企業庁の「次世代企業間データ連携調査事業」の一環として、業務領域別メッセージ管理システムの提案を行い、会員企業が受託し開発を行った。

***５　グローバルネットワーク相互運用性の展開***

（１）企業間データ連携調査

・「次世代企業間データ連携調査事業」実証プロジェクトが開始されることとなり、その通信インフラにつき、データ連携ITインタフェースおよびクラウド間相互運用性につき調査を行った。